

平成28年2月の鉱工業活動
図表集

平成28年4月15日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成28年2月の鉱工業指数(確報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	93.2	92.8	112.1	118.7
前月比	▲ 5.2%	▲ 4.1%	▲ 0.4%	5.7%
指数水準	H23.4 87.6以来 ①H21.2 76.6 ②H21.3 77.6 ③H21.4 81.0	H24.11 91.8以来 ①H21.2 79.2 ②H21.3 79.7 ③H21.4 80.7	H27.10 111.9以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12,H22.9 99.1	H23.5 120.3以来 I H21.2 155.6 II H21.1 150.2 III H21.3 146.3
前月比の動き	2か月ぶり▲ (H27.12以来)	2か月ぶり▲ (H27.12以来)	2か月連続▲ (H28.1～当月)	2か月ぶり+ (H27.12以来)
前月比幅	H23.3 ▲16.5%以来 ①H23.3 ▲16.5% ②H21.1 ▲8.8% ③H21.2 ▲8.6%	H23.4 ▲4.2%以来 ①H23.3 ▲15.7% ②H21.1 ▲9.5% ③H20.12 ▲7.1%	H27.10 ▲0.9%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H26.8 7.0%以来 I H20.11 13.2% II H20.12 9.9% III H21.1 9.8%
前年同月比(原指数)	▲ 1.2%	▲ 1.6%	▲ 0.9%	0.9%
前年同月比の動き	3か月連続▲ (H27.12～当月)	3か月連続▲ (H27.12～当月)	3か月ぶり▲ (H27.11以来)	3か月連続+ (H27.12～当月)
前年同月比幅	H28.1 ▲4.2%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H28.1 ▲5.4%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H26.4 ▲1.5%以来 ①H21.12 ▲17.6 ②H22.1 ▲16.8 ③H21.11 ▲16.4	H28.1 4.1%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

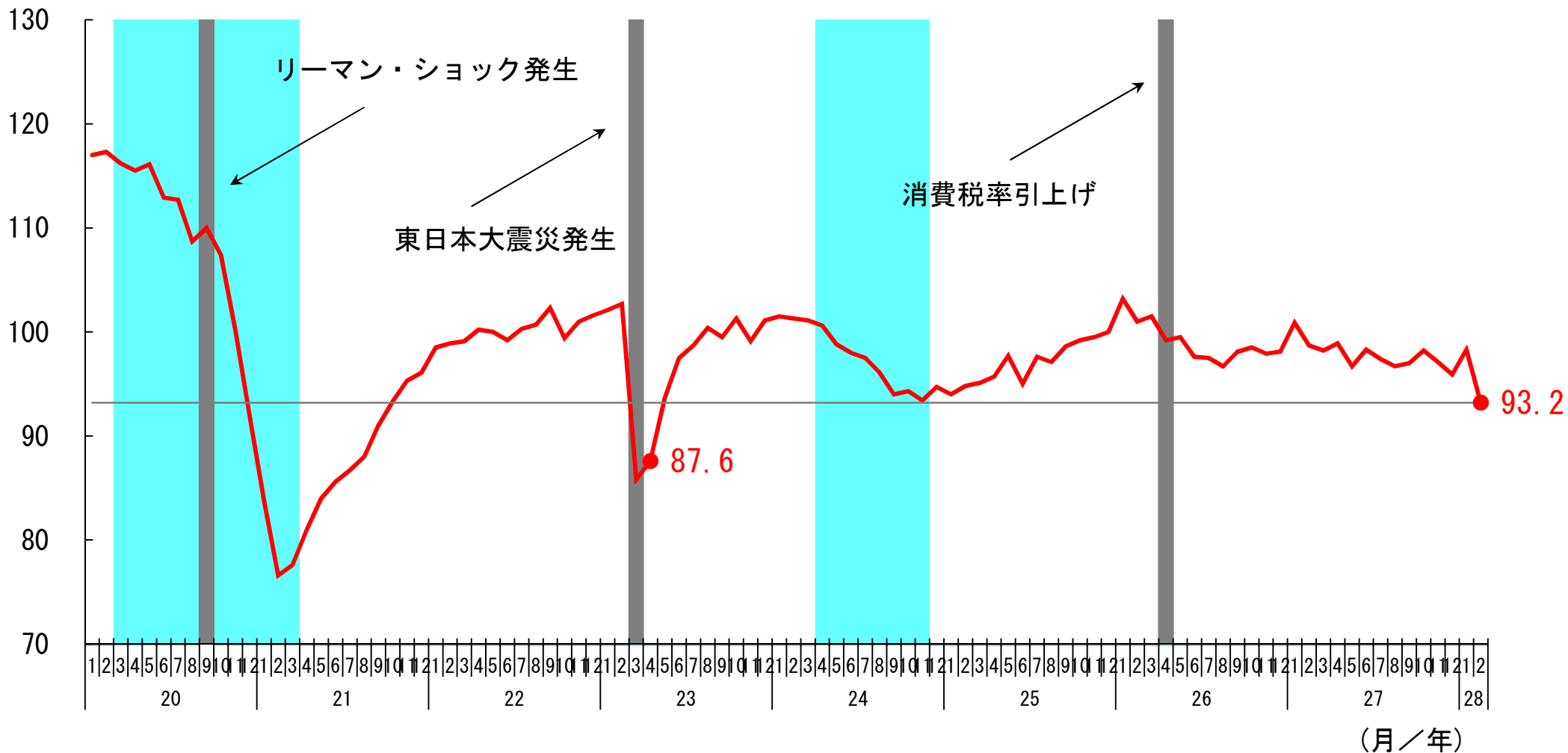
1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数の動向

- 平成28年2月の鉱工業生産指数は93.2(前月比▲5.2%)と2か月ぶりの低下。
- 平成23年4月の87.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鉱工業指数(IIP)とは、月々の鉱工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉱工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

平成28年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	5.9%	1.8%
	品目	石油製品	6.1%	1.8%
	2位の業種	窯業・土石製品工業	1.5%	0.9%
	品目	ファインセラミックス セメント・同製品	4.7% 1.5%	0.7% 0.1%
	3位の業種	食料品・たばこ工業	0.1%	0.1%
	品目	清涼飲料 油脂・調味料	1.4% 2.8%	0.5% 0.3%
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	輸送機械工業	▲ 8.8%	▲ 33.0%
	品目	乗用車 自動車部品	▲ 15.3% ▲ 11.0%	▲ 22.8% ▲ 14.3%
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	▲ 16.5%	▲ 28.4%
	品目	電子部品 集積回路	▲ 20.9% ▲ 16.6%	▲ 17.8% ▲ 10.9%
	3位の業種	電気機械工業	▲ 7.6%	▲ 10.3%
	品目	回転電気機械 静止電気機械	▲ 12.8% ▲ 13.3%	▲ 2.6% ▲ 1.5%

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

平成28年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	航空機	▲ 18.7%	▲ 4.6%
	2位	石油製品	▲ 6.1%	▲ 1.8%
	3位	運搬機械	▲ 21.2%	▲ 1.6%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	▲ 15.3%	▲ 22.8%
	2位	電子部品	▲ 20.9%	▲ 17.8%
	3位	自動車部品	▲ 11.0%	▲ 14.3%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	▲ 5.5%	▲ 53.5%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	▲ 51.5%	▲ 12.5%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	▲ 31.3%	▲ 10.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	▲ 9.1%	▲ 18.5%
		普通乗用車	▲ 17.0%	▲ 16.8%
		小型乗用車	▲ 14.6%	▲ 2.9%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	▲ 5.2%	▲ 15.3%
		半導体製造装置	▲ 18.9%	▲ 4.7%
		プレス用金型	▲ 33.3%	▲ 2.2%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	▲ 5.5%	▲ 6.1%
		橋りょう	▲ 34.1%	▲ 3.6%
		アルミニウムエクステリア	▲ 8.6%	▲ 0.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.1%	0.3%
		モイスチャークリーム	38.7%	1.3%
		クレンジングクリーム	14.7%	0.6%

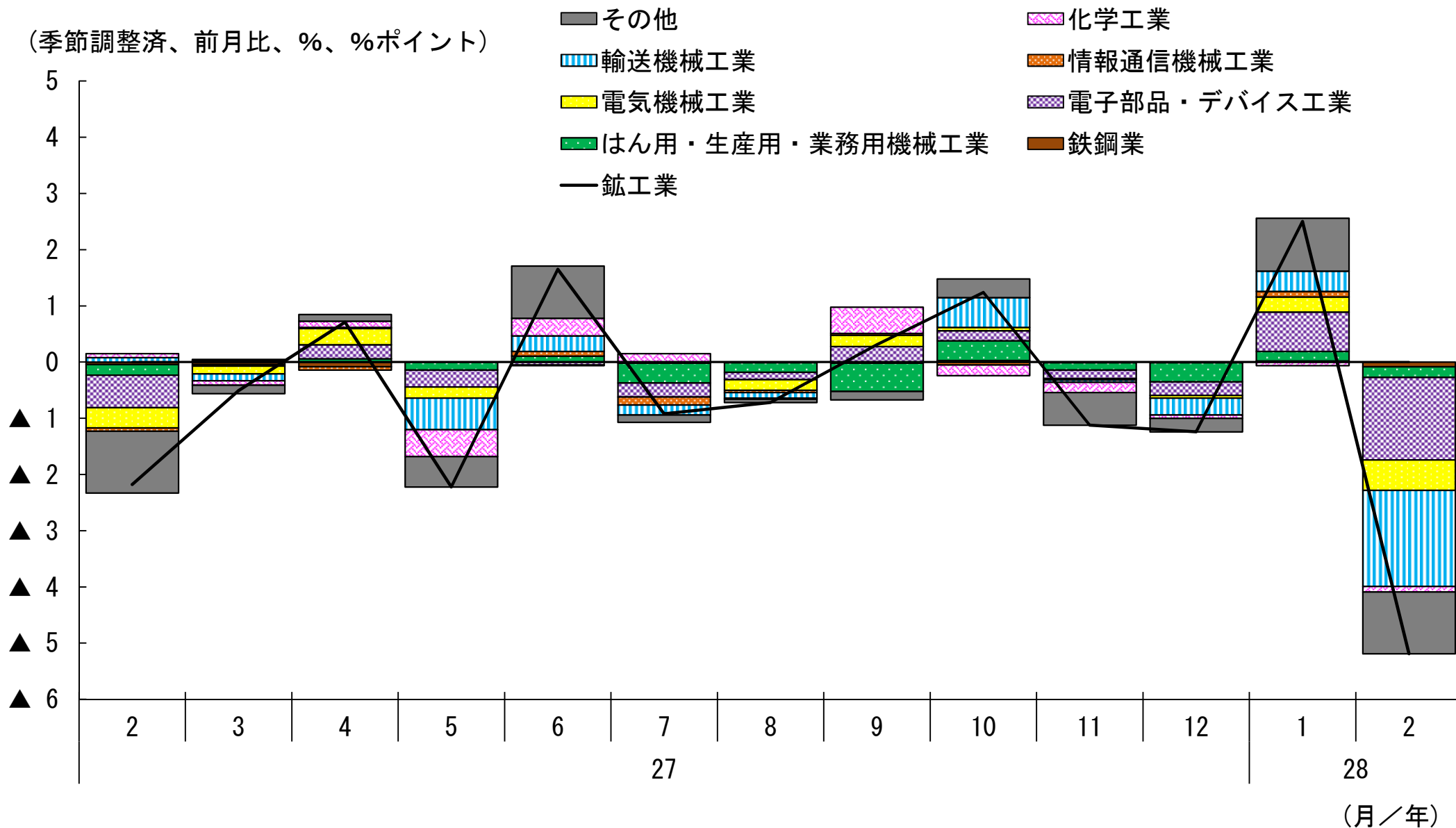
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋁工業生産指数への業種別寄与度分解

平成28年2月の生産指数は輸送機械工業などが低下したため、前月比▲5.2%の低下。

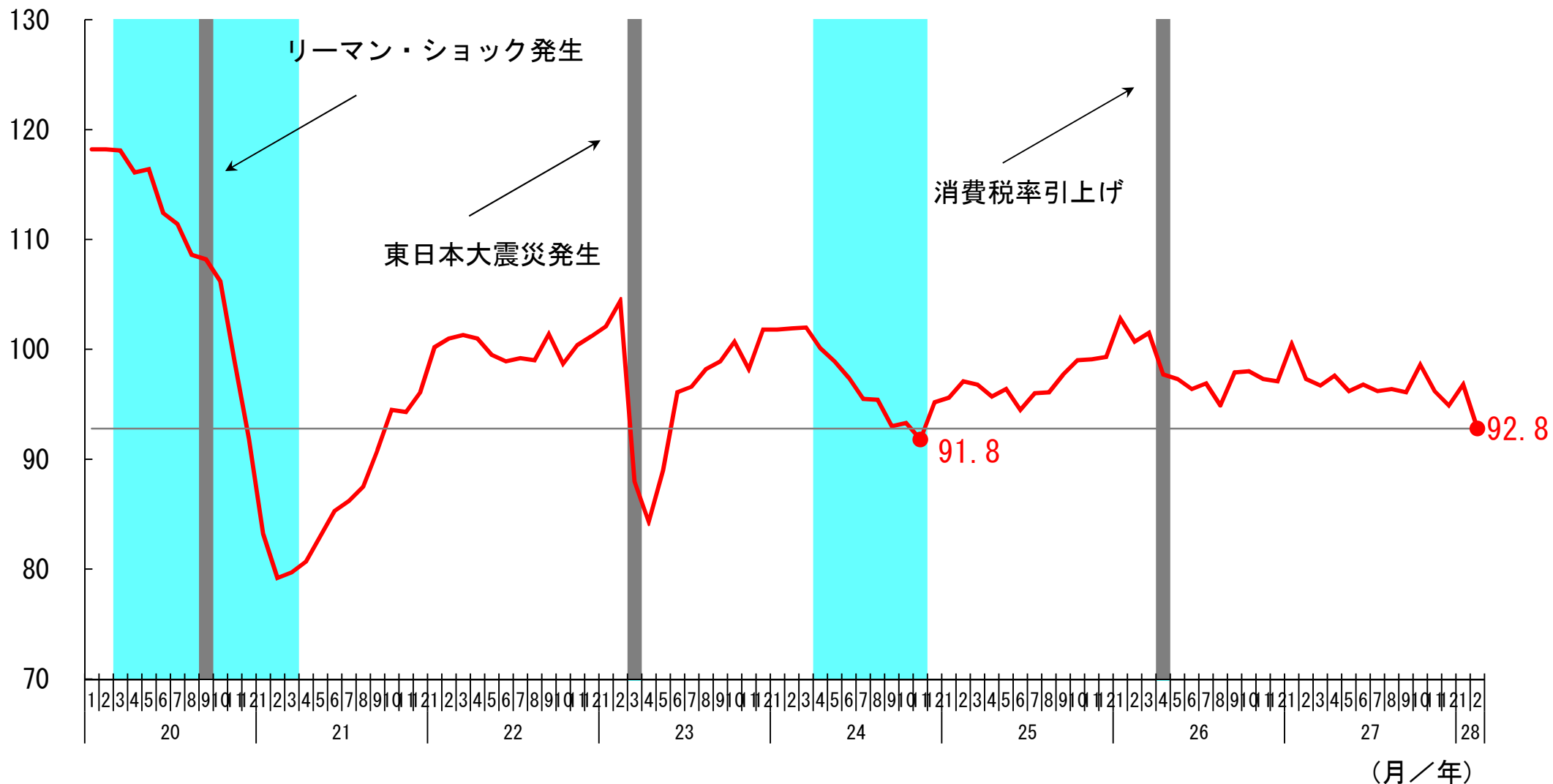
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉱工業出荷指数の動向

- ・平成28年2月の鉱工業出荷指数は92.8(前月比▲4.1%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成24年11月の91.8以来の指数水準。

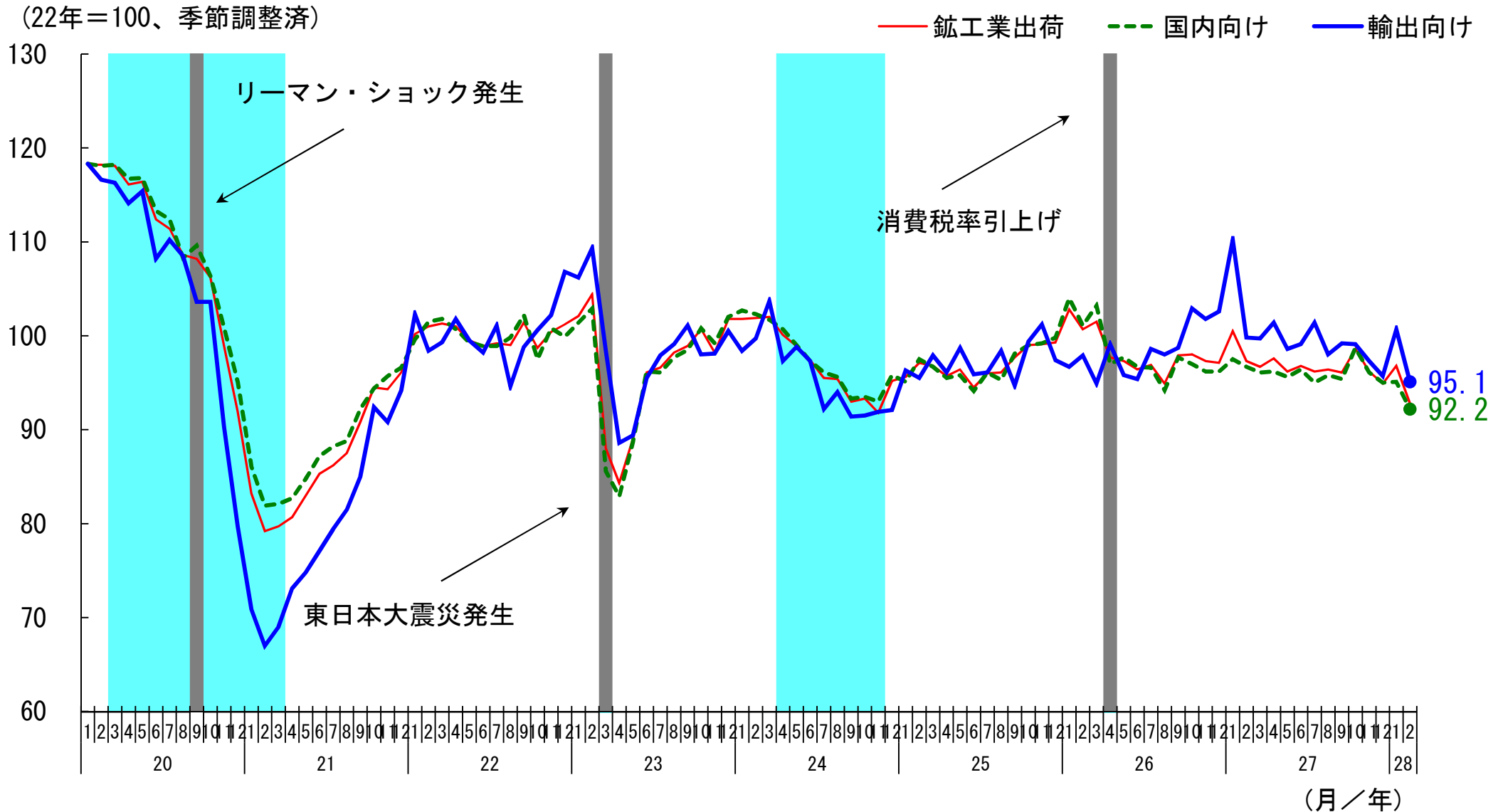
(22年=100、季節調整済)



(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・平成28年2月の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは92.2(前月比▲3.0%)と2か月ぶりの低下、輸出向けは95.1(前月比▲5.6%)と2か月ぶりの低下。



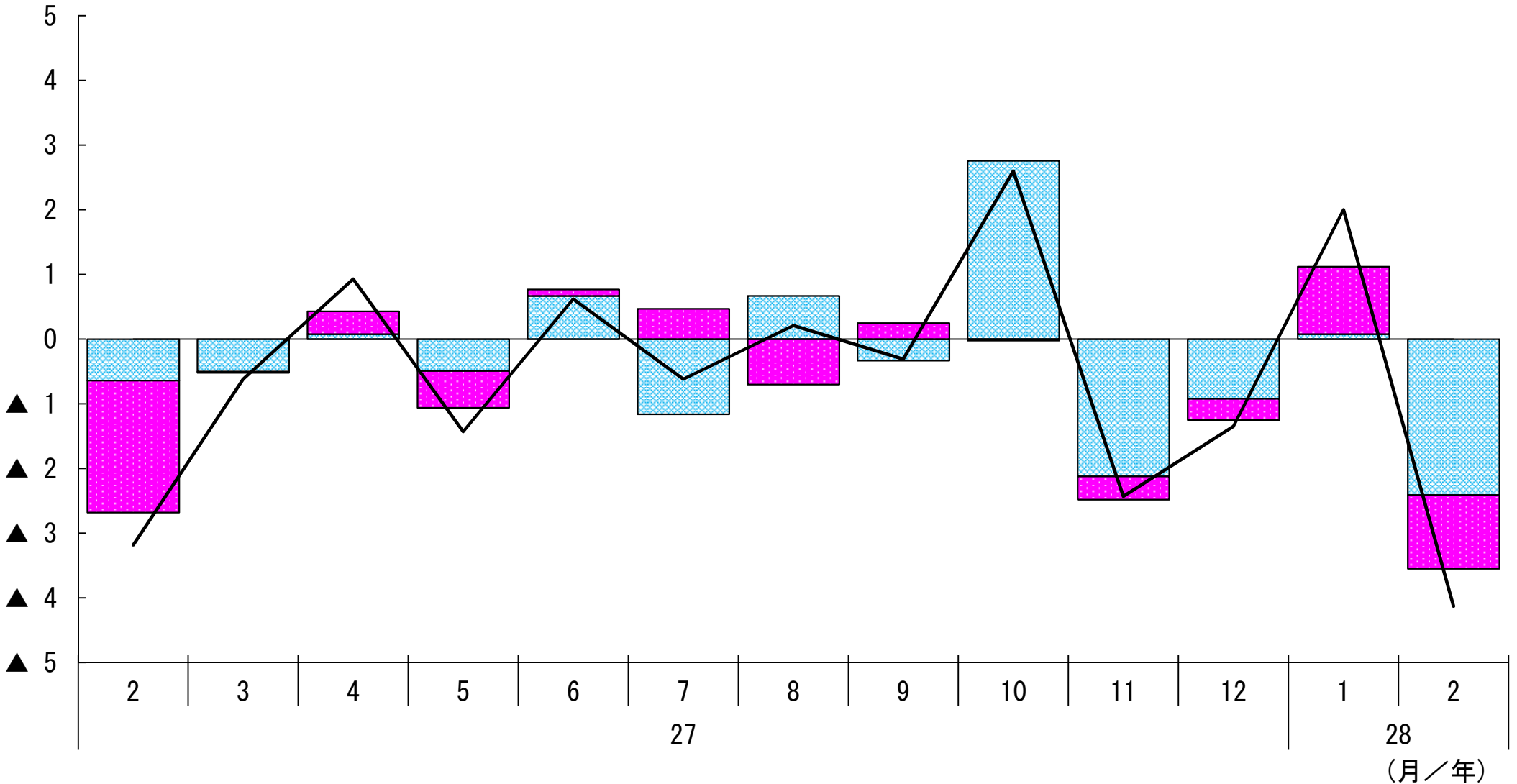
(注) 水色のシャドー部分は景気後退局面。

鉛工業出荷への国内向け／輸出向け別寄与度分解

- 平成28年2月の鉛工業出荷は国内向け、輸出向けともに低下したため、前月比▲4.1%の低下。

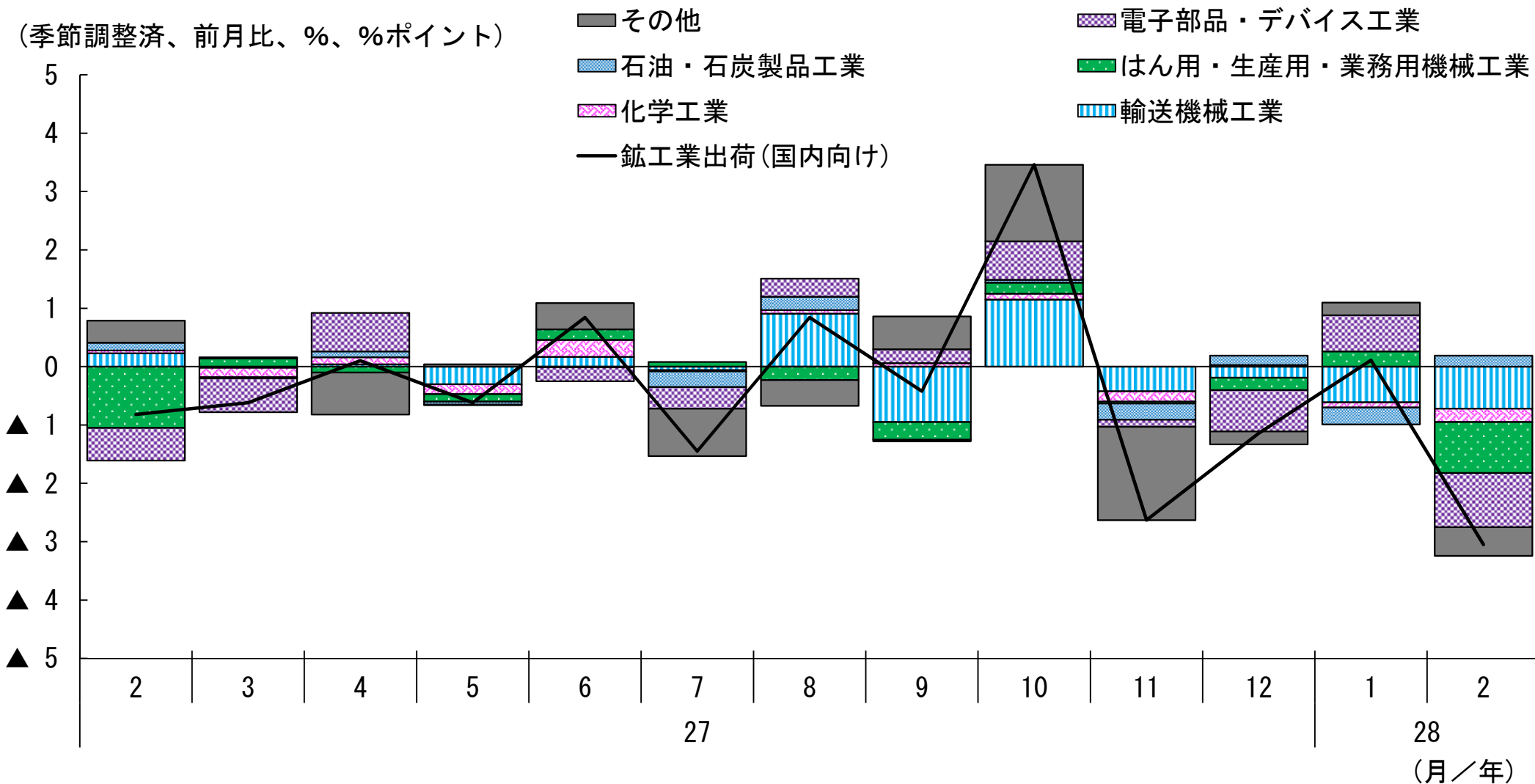
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

■ 輸出向け ■ 国内向け — 鉛工業出荷



国内向け出荷への業種別寄与度分解

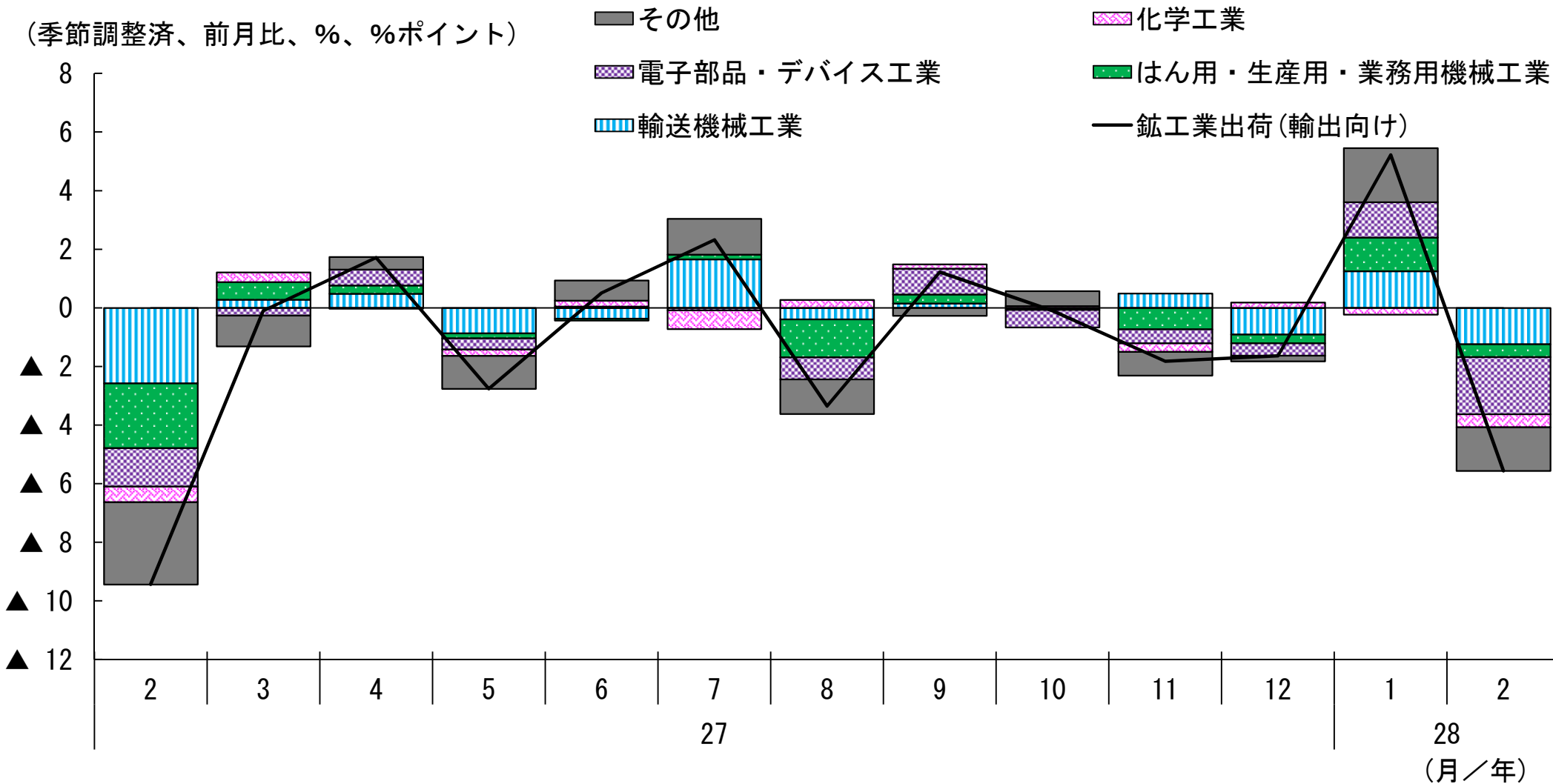
- 平成28年2月の国内向け出荷を、主要業種別にみると、石油・石炭製品工業が上昇したものの、電子部品・デバイス工業などが低下。



(注)主要業種とは、国内向け出荷(ウエイト8028.51)のうち、ウエイトが大きい5業種を選定。
 具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウエイト1658.38)、化学工業(同、同860.84)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同796.12)、石油・石炭製品工業(同、同574.89)、電子部品・デバイス工業(同、同457.59)。

輸出向け出荷への業種別寄与度分解

- 平成28年2月の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、電子部品・デバイス工業などが低下。

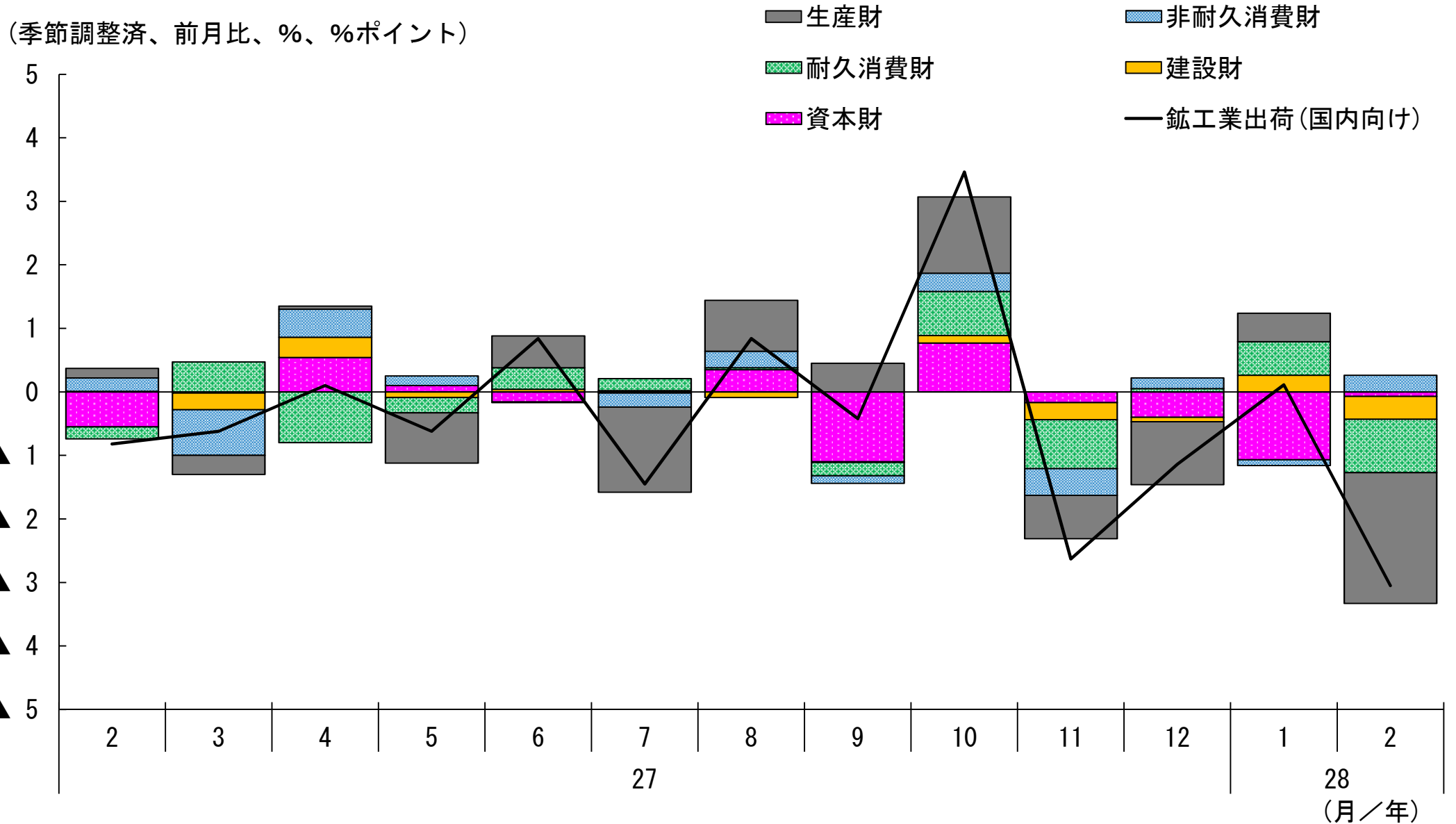


(注)主要業種とは、輸出向け出荷(ウエイト1971.49)のうち、ウエイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウエイト560.52)、はん用・生産用・業務用機械工業(同、同289.48)電子部品・デバイス工業(同、同253.51)、化学工業(同、同180.06)の4業種。

国内向け出荷への財別寄与度分解

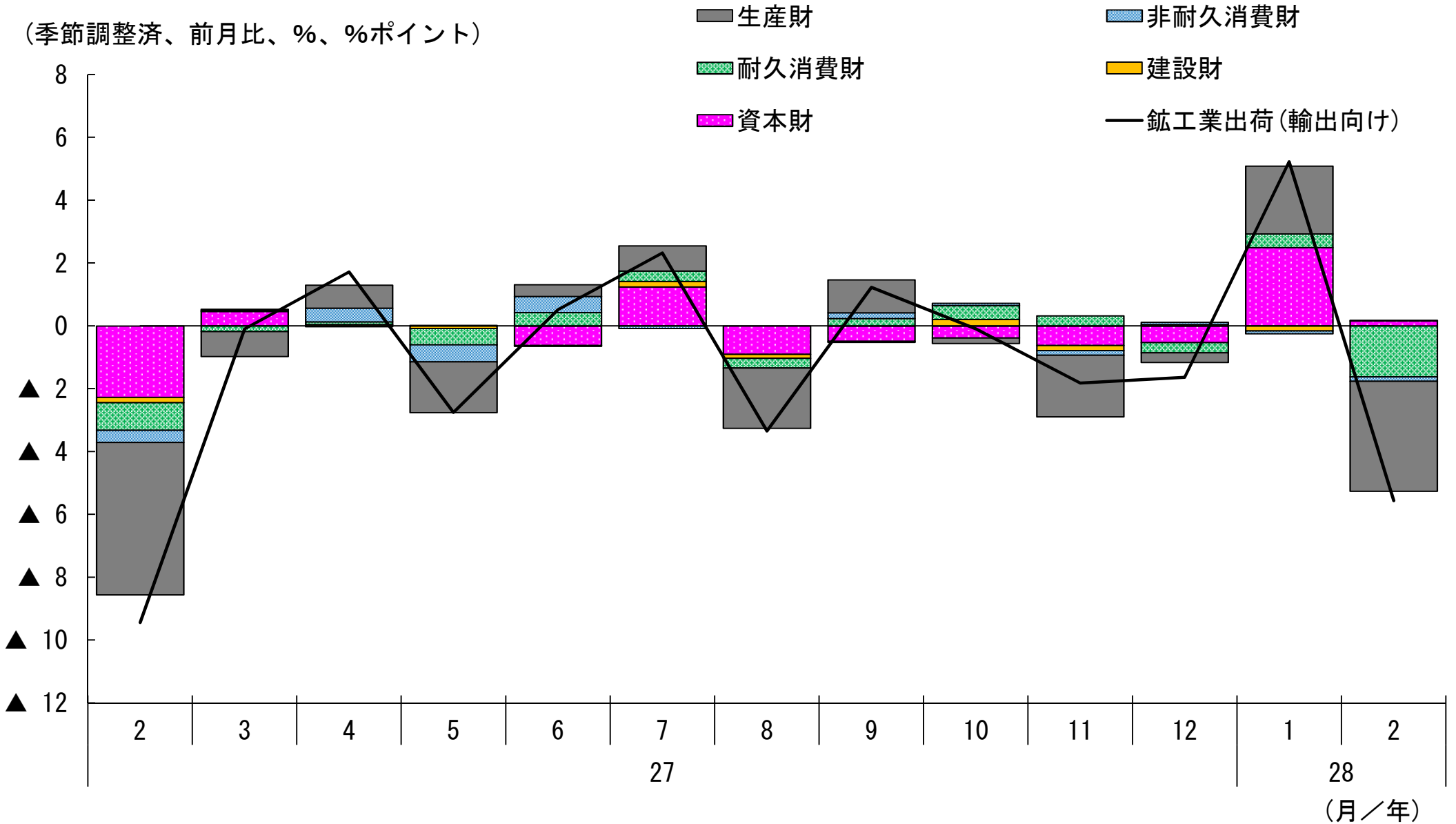
- 平成28年2月の国内向け出荷を、財別にみると、非耐久消費財が上昇したものの、生産財などが低下。



輸出向け出荷への財別寄与度分解

- 平成28年2月の輸出向け出荷を、財別にみると、資本財などが上昇したものの、生産財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



平成28年2月の国内向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 3.0	▲ 58.2
鉱工業用生産財	▲ 5.3	▲ 44.0
電子部品・デバイス工業	▲ 12.1	▲ 18.3
輸送機械工業	▲ 12.1	▲ 16.0
耐久消費財	▲ 6.3	▲ 16.0
輸送機械工業	▲ 8.9	▲ 16.5
電気機械工業	▲ 3.5	▲ 0.8
建設財	▲ 5.4	▲ 6.9
金属製品工業	▲ 9.8	▲ 5.5
窯業・土石製品工業	▲ 2.0	▲ 0.4
資本財	▲ 0.4	▲ 1.3
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 8.3	▲ 14.6
電気機械工業	▲ 15.3	▲ 7.4
その他用生産財	3.7	3.7
石油・石炭製品工業	4.4	2.6
プラスチック製品工業	6.6	0.5
非耐久消費財	1.9	5.0
石油・石炭製品工業	3.8	1.8
その他工業	6.7	0.2

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

平成28年2月の輸出向け出荷への財別・業種別の変動寄与

財別分類	前月比(%)	寄与率(%)
鉱工業	▲ 5.6	▲ 27.6
鉱工業用生産財	▲ 5.9	▲ 16.6
電子部品・デバイス工業	▲ 15.8	▲ 9.7
鉄鋼業	▲ 4.5	▲ 1.4
耐久消費財	▲ 11.8	▲ 8.1
輸送機械工業	▲ 9.3	▲ 5.3
情報通信機械工業	▲ 9.6	▲ 0.4
その他用生産財	▲ 7.4	▲ 1.4
石油・石炭製品工業	▲ 8.9	▲ 1.1
金属製品工業	▲ 25.0	▲ 0.2
非耐久消費財	▲ 4.5	▲ 0.7
その他工業	▲ 15.3	▲ 0.3
化学工業	▲ 3.3	▲ 0.2
建設財	0.9	0.1
プラスチック製品工業	9.0	0.2
窯業・土石製品工業	14.6	0.2
資本財	0.8	0.8
輸送機械工業	8.6	2.5
情報通信機械工業	6.0	0.3

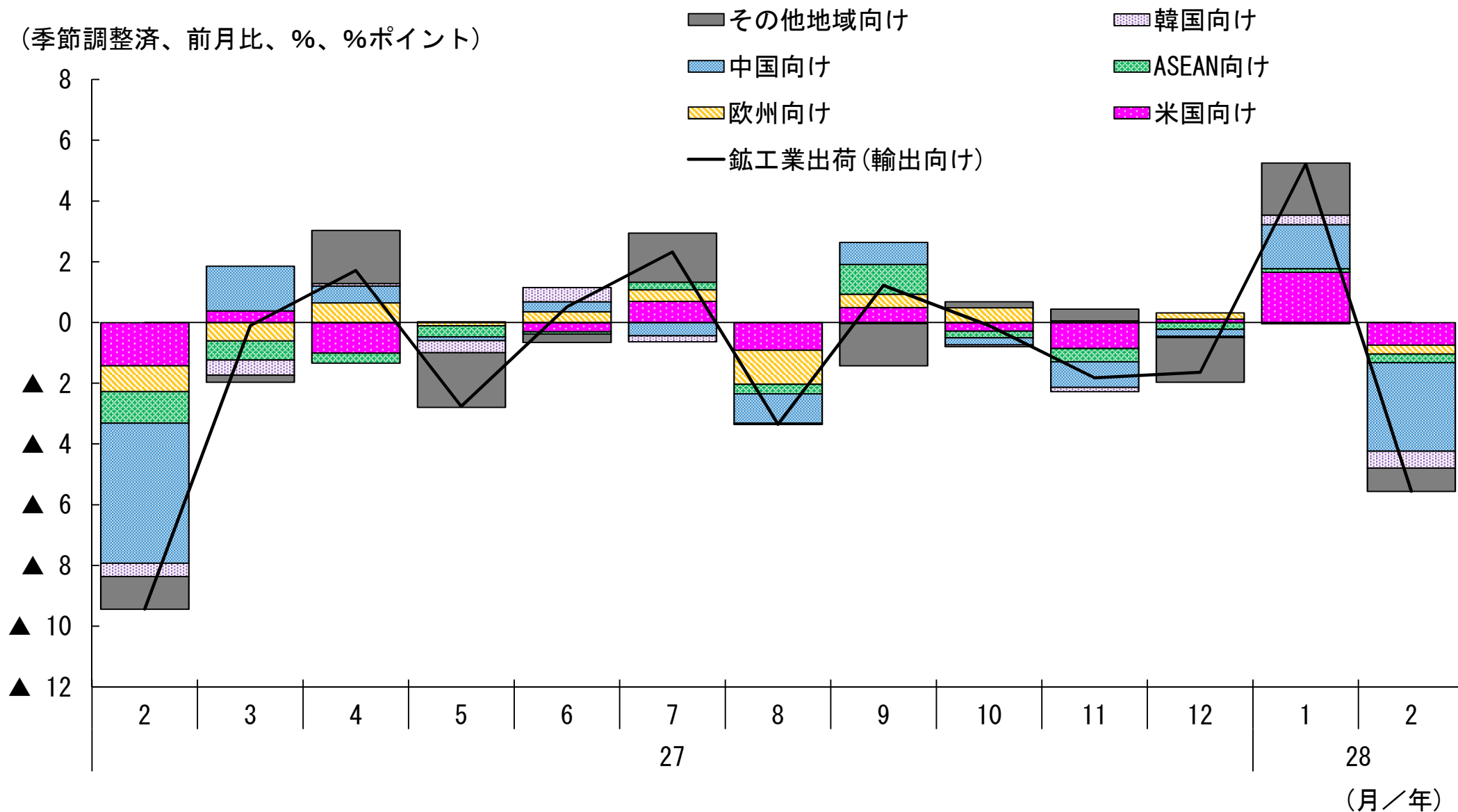
寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら▲100%になる。

(注)試算値。

輸出向け出荷への地域別寄与度分解

- 平成28年2月の輸出向け出荷を、財別にみると、中国向けなどが低下。

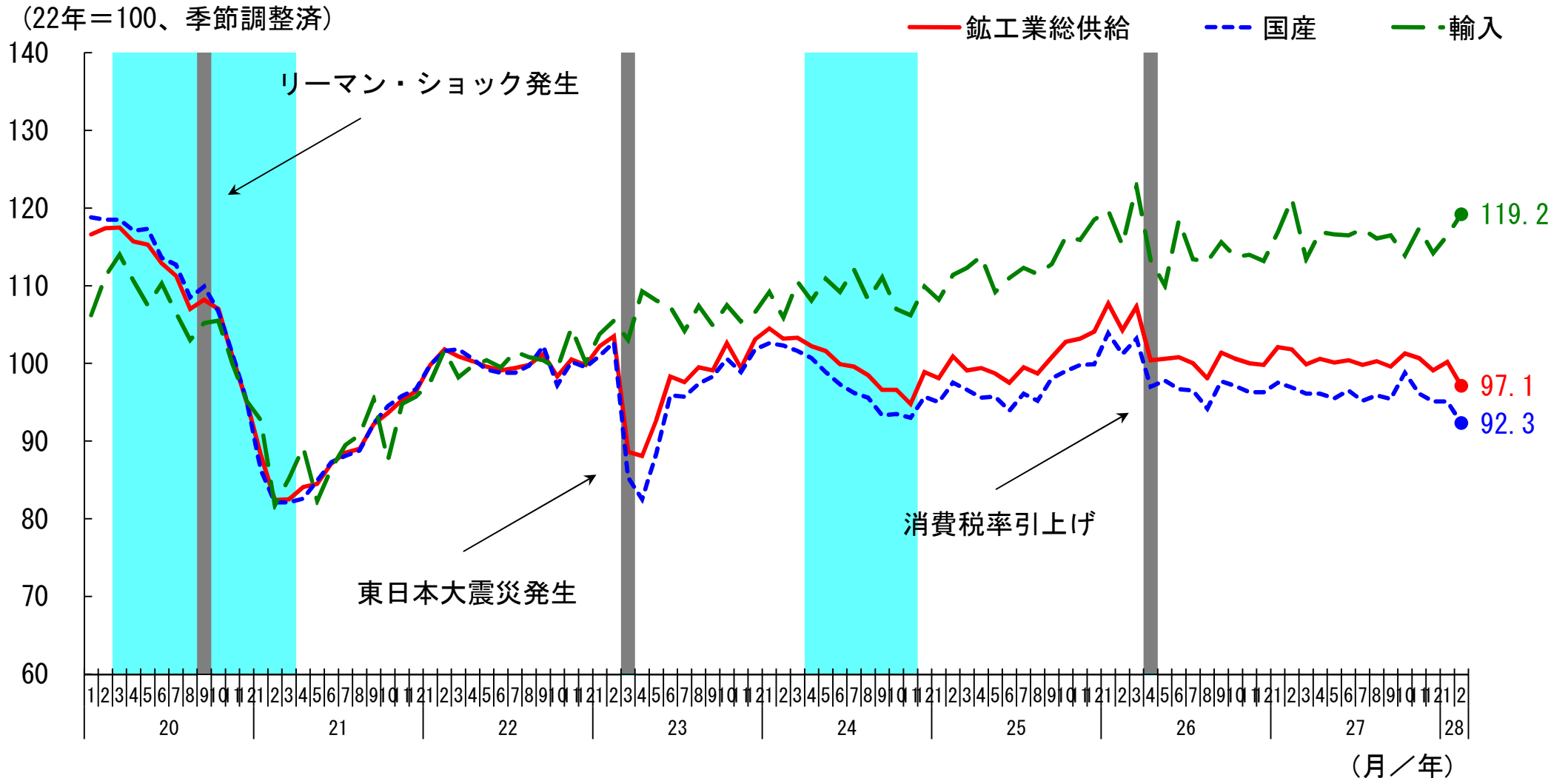
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 試算値。

鉛工業総供給指数の動向

- ・平成28年2月の鉛工業総供給指数は97.1(前月比▲3.1%)と2か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は92.3(前月比▲2.9%)と2か月ぶりの低下、輸入は119.2(前月比2.3%)と2か月連続の上昇。

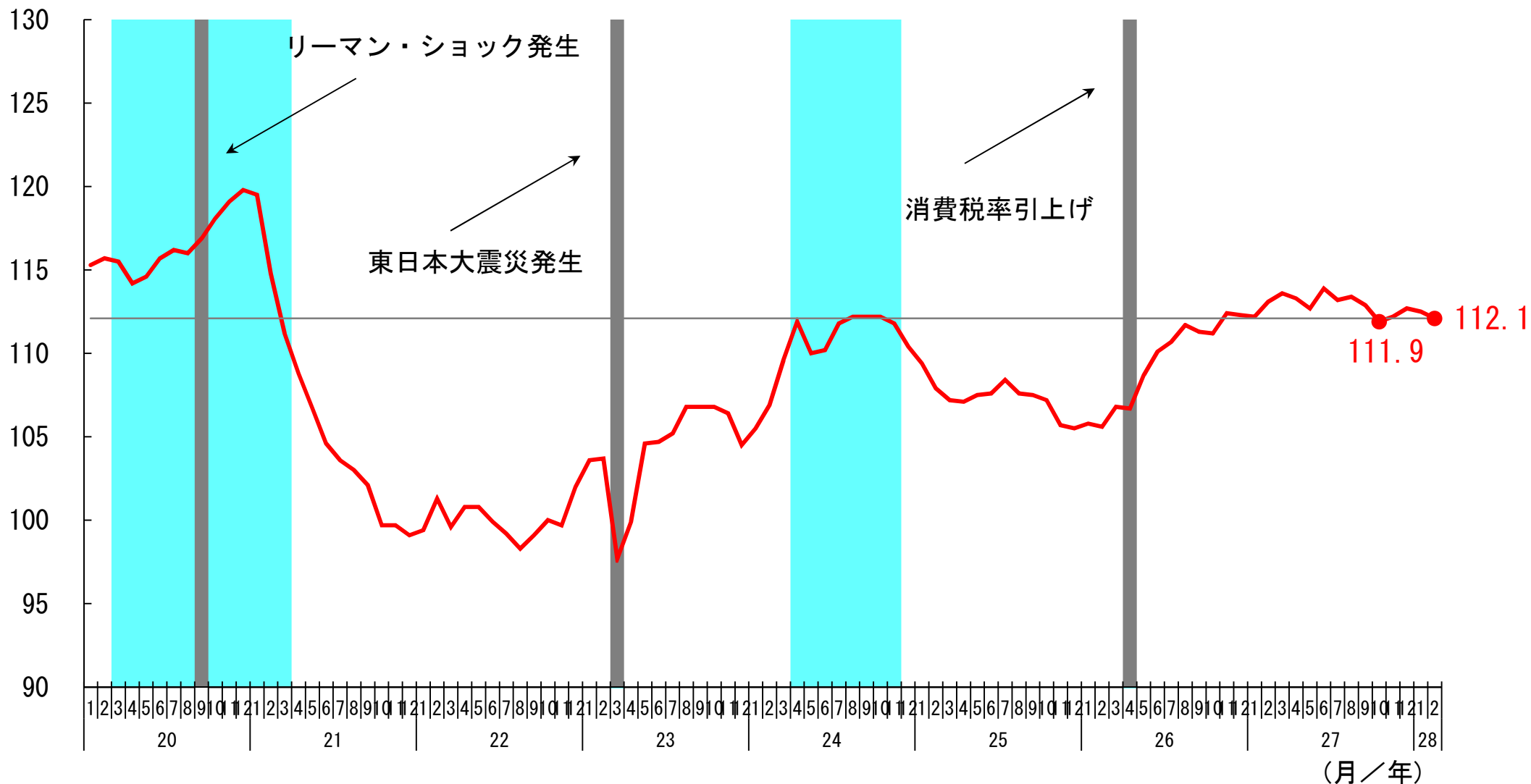


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

鉱工業在庫指数の動向

- ・平成28年2月の在庫指数は112.1(前月比▲0.4%)と2か月連続の低下。
- ・平成27年10月の111.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

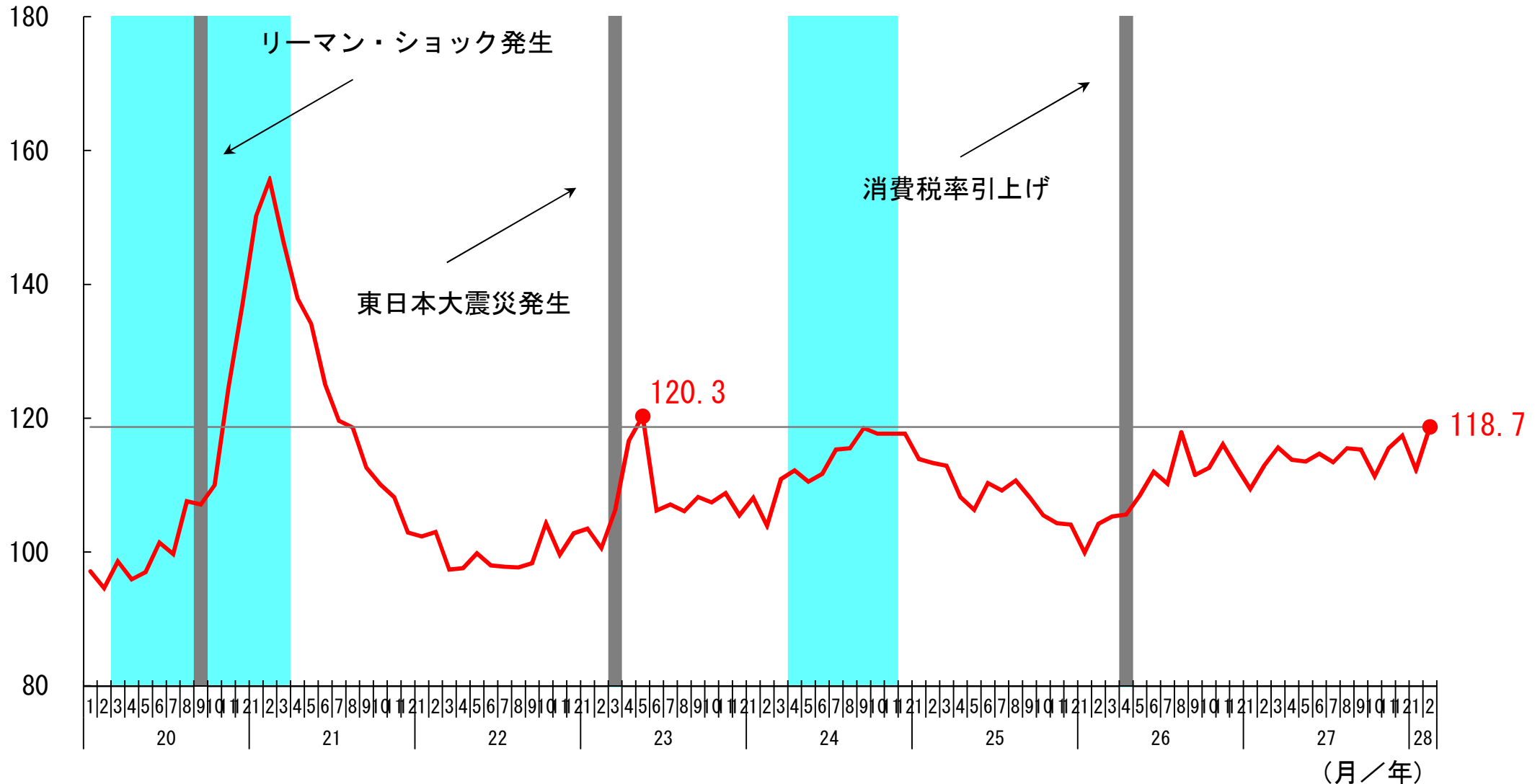


(注)水色のシャド一部分は景気後退局面。

鋳工業在庫率指数の動向

- ・平成28年2月の在庫率指数は118.7(前月比5.7%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成23年5月の120.3以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面。

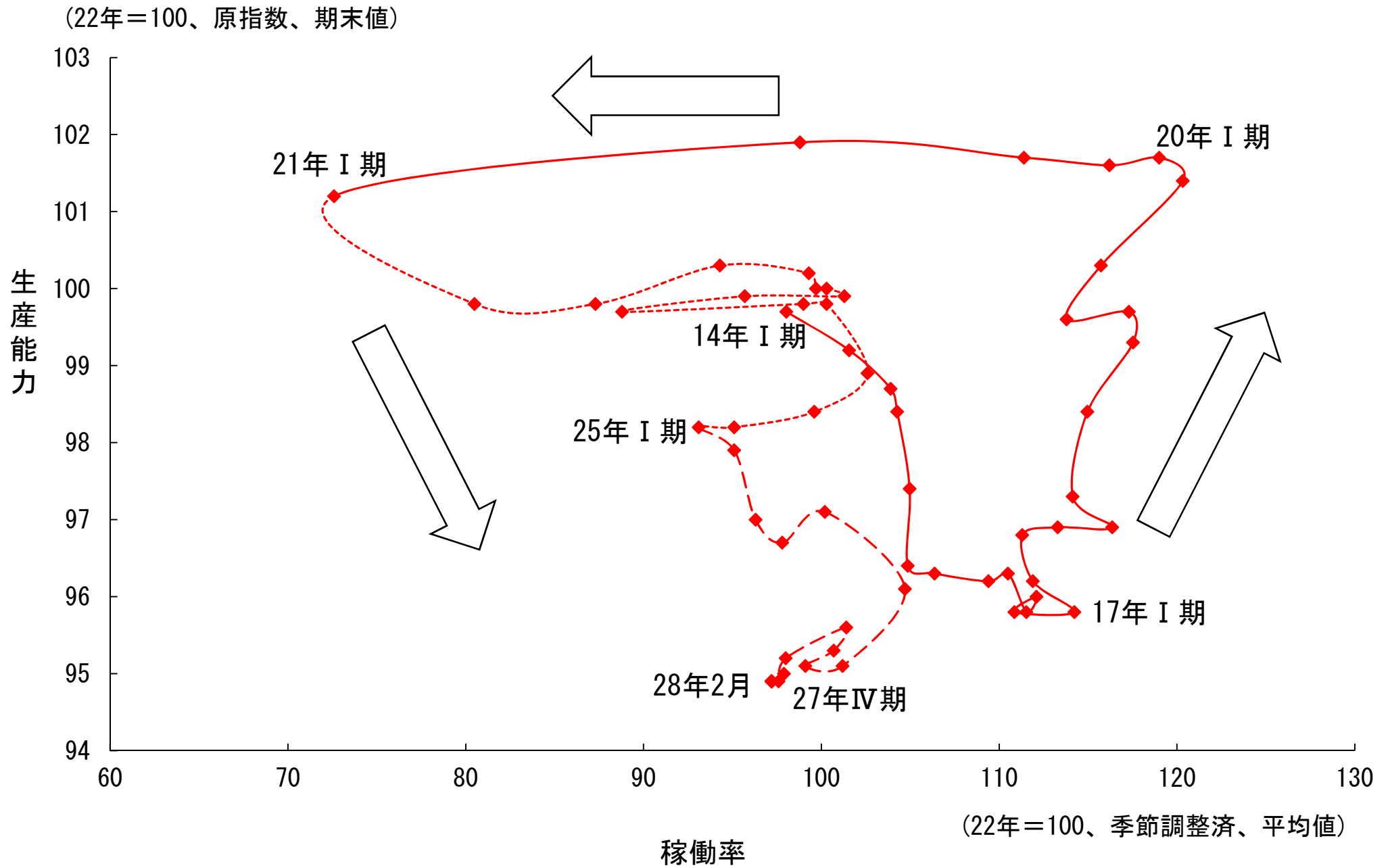
平成28年2月の製造工業稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率		能力			
	機械工業	非機械工業	機械工業	非機械工業		
季調済指数	94.5	93.0	96.5	94.9 (原指数)	95.8 (原指数)	93.5 (原指数)
前月比	▲ 5.4%	▲ 7.3%	▲ 2.1%	0.1%	0.1%	▲ 0.1%
指数水準	H24. 12 94.0以来 ①H21. 2 69.3 ②H21. 3 70.3 ③H21. 4 77.2	H24. 11 91.0以来 ①H21. 2 63.9 ②H21. 3 66.4 ③H23. 4 69.7	H26. 6 95.6以来 ①H21. 3 76.8 ②H21. 2 77.8 ③H21. 1 82.5	H27. 12 95.0以来 I H20. 11 102.0 II H20. 12 101.9 III H20. 7 101.8	H27. 12 95.9以来 I H20. 11 101.6 II H20. 12 101.5 III H23. 10 101.4	22年基準最低水準 ①H28. 2 93.5 ②H28. 1 93.6 ③H27. 10, 11, 12 93.7
前月比の動き	2か月ぶり▲ (H27.12以来)	2か月ぶり▲ (H27.12以来)	2か月ぶり▲ (H27.12以来)	4か月ぶり+ (H27.10以来)	4か月ぶり+ (H27.10以来)	2か月連続▲ (H28.1～当月)
前月比幅	H23. 3 ▲21.7%以来 ①H23. 3 ▲21.7% ②H21. 1 ▲12.0% ③H21. 2 ▲11.3%	H23. 3 ▲28.6%以来 ①H23. 3 ▲28.6% ②H21. 1 ▲15.0% ③H21. 2 ▲14.8%	H23. 12 ▲2.4%以来 ①H23. 3 ▲10.9% ②H21. 1 ▲7.9% ③H20. 12 ▲7.6%	H27. 10 0.2%以来 I H21. 10, H25. 10 0.4% II H20. 11, H23. 10, H25. 9, H27. 1 0.3%	H27. 10 0.4%以来 I H21. 10 1.1% II H25. 10 0.8% III H20. 11, H23. 10 0.6%	H28. 1 ▲0.1%以来 (超)H27. 7 ▲0.3%以来 ①H26. 4 ▲1.0% ②H21. 10, H22. 1, 7, H23. 1, H24. 4 ▲0.4%
前年同月比(原指数)	▲ 2.3%	▲ 4.8%	1.4%	▲ 0.7%	▲ 0.4%	▲ 1.3%
前年同月比の動き	3か月連続▲ (H27.12～当月)	14か月連続▲ (H27.1～当月)	3か月ぶり+ (H27.11以来)	7か月連続▲ (H27.8～当月)	2か月連続▲ (H28.1～当月)	89か月連続▲ (H20.10～当月)
前年同月比幅	H28. 1 ▲5.3%以来 ①H21. 2 ▲43.9% ②H21. 3 ▲40.5% ③H21. 1 ▲35.0%	H28. 1 ▲8.0%以来 ①H21. 2 ▲50.8% ②H21. 3 ▲46.1% ③H21. 1 ▲40.7%	H27. 9 1.7%以来 I H22. 3 29.2% II H22. 2 28.7% III H22. 1 20.1%	H28. 1 ▲0.8%以来 ①H21. 7, 8, H26. 11 ▲2.1% ②H26. 1, 2, 4, 6, 10 ▲2.0% ③H21. 9, H26. 12 ▲1.9%	H28. 1 ▲0.4%以来 (超)H26. 12 ▲1.9%以来 ①H21. 8 ▲2.7% ②H21. 7, H25. 7, H26. 1, 2 ▲2.6%	H28. 1 ▲1.3%以来 (超)H27. 9 ▲1.4%以来 ①H22. 12, H23. 1 ▲2.1% ②H22. 9, 11, H23. 2, 5, 6, H26. 4 ▲2.0%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

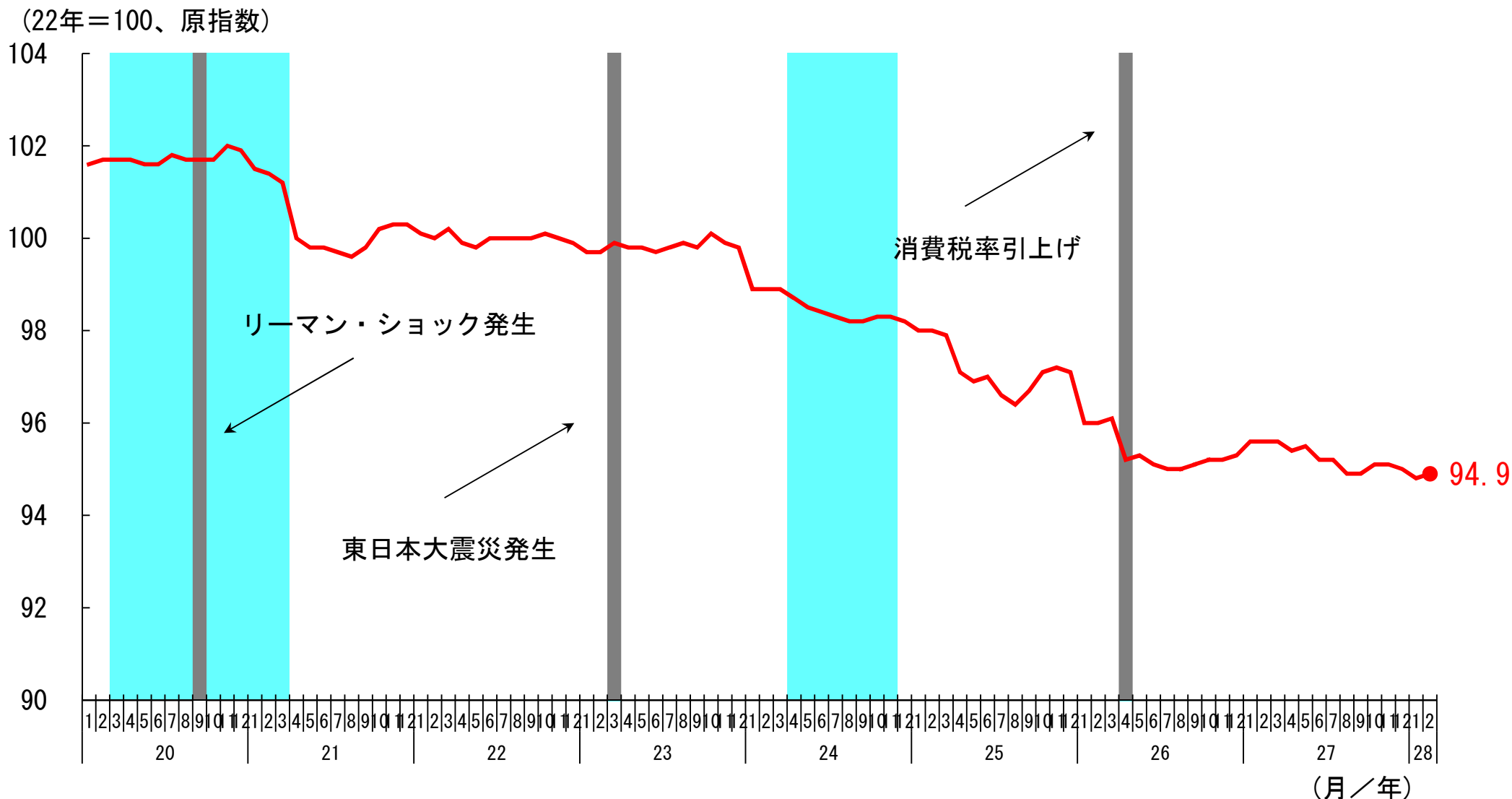
稼働率と生産能力の循環図(製造工業)



(注)28年2月の稼働率は、28年1月及び同年2月の稼働率指数の平均値。

製造工業生産能力指数の動向

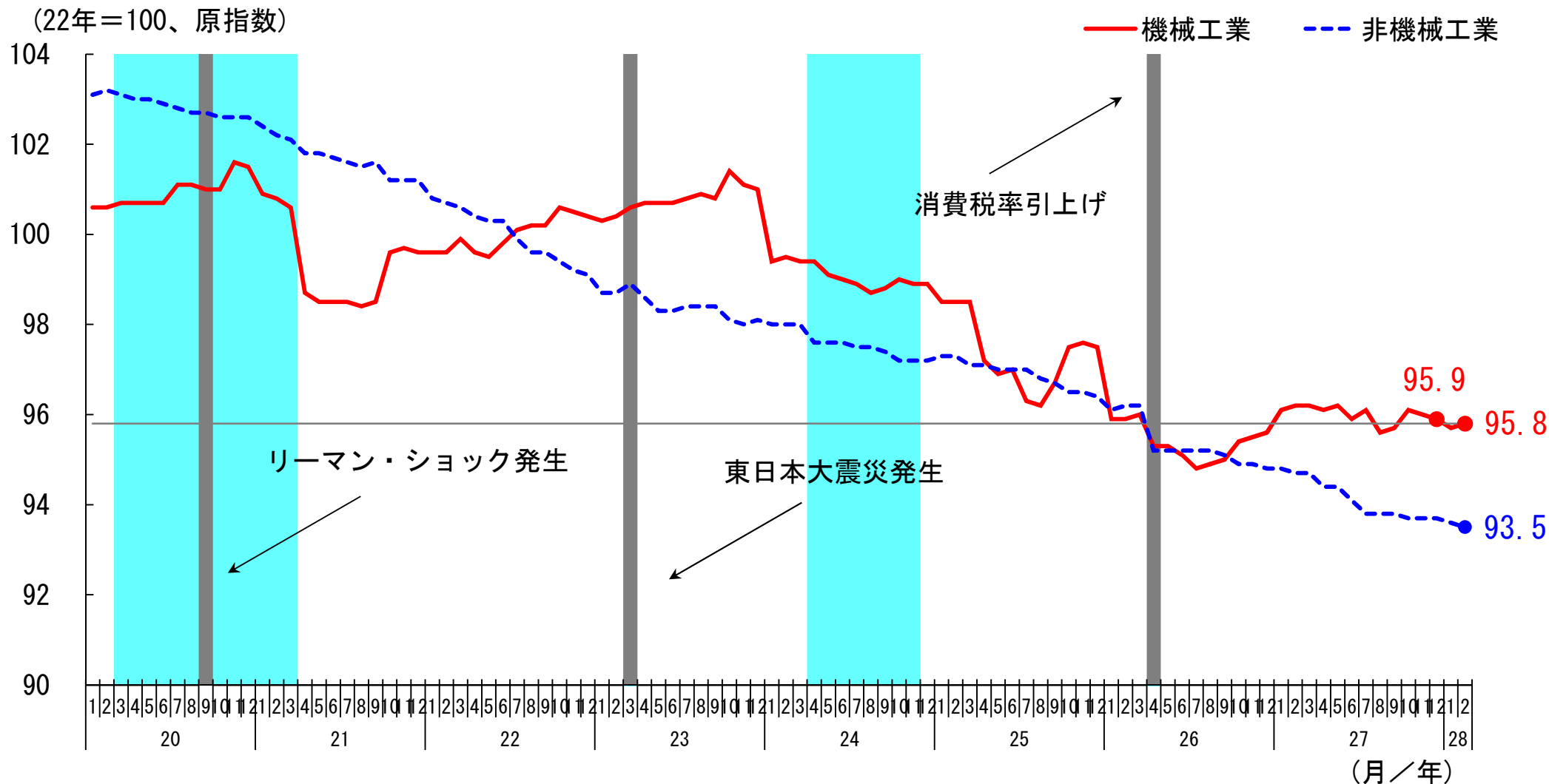
- 平成28年2月の製造工業生産能力指数は94.9(前月比0.1%)と4か月ぶりの上昇。



(注) 1. 製造工業生産能力指数とは、月々の製造工業の生産能力を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。
 2. 水色のシャドー部分は景気後退局面。

機械工業と非機械工業の生産能力指数の動向

- 平成28年2月の機械工業の生産能力指数は95.8(前月比0.1%)と4か月ぶりの上昇。
平成27年12月の95.9以来の指数水準。
- 非機械工業の生産能力指数は93.5(前月比▲0.1%)と2か月連続の低下。

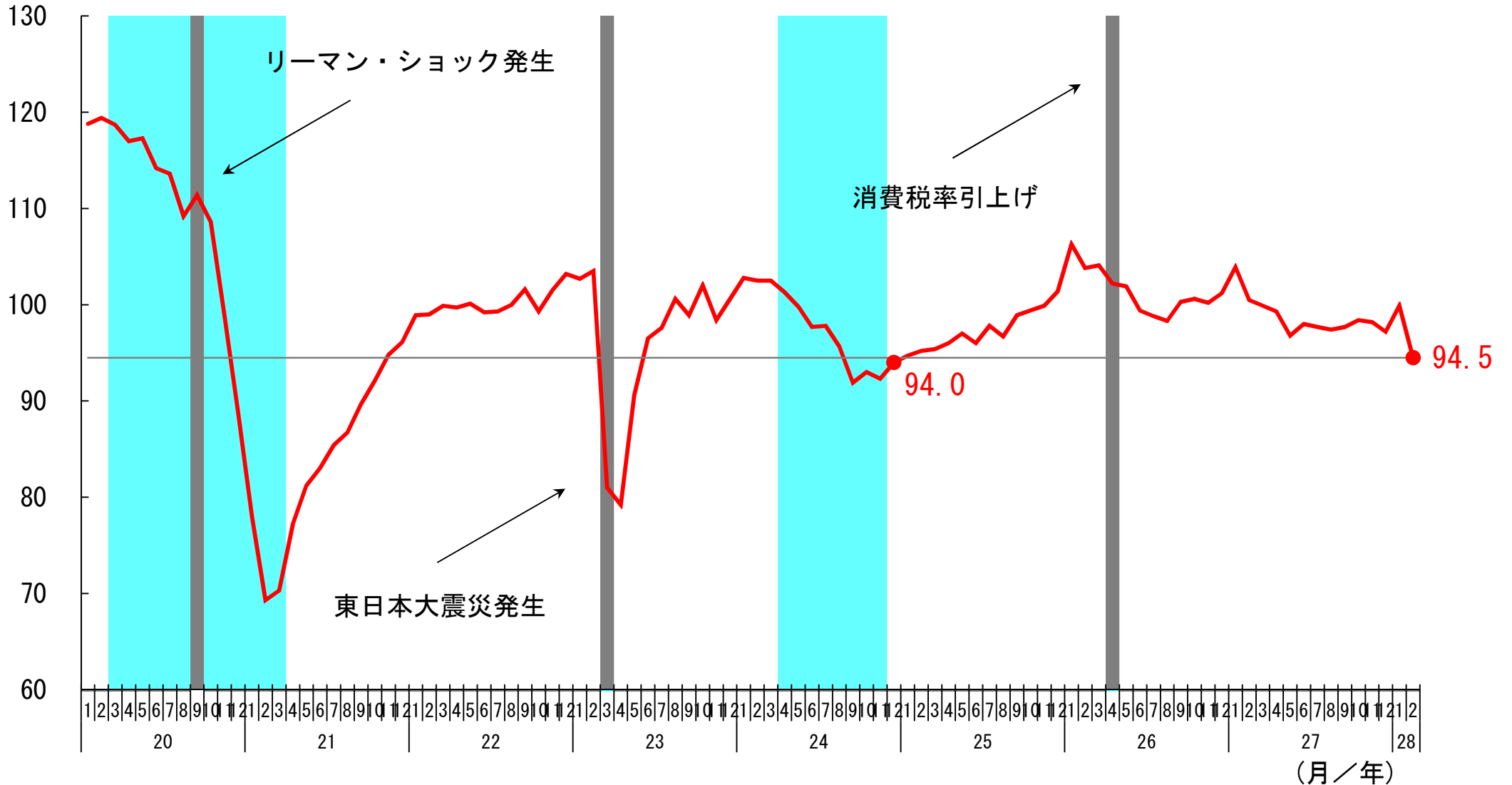


(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数の動向

- 平成28年2月の製造工業稼働率指数は94.5(前月比▲5.4%)と2か月ぶりの低下。
- 平成24年12月の94.0以来の指数水準。

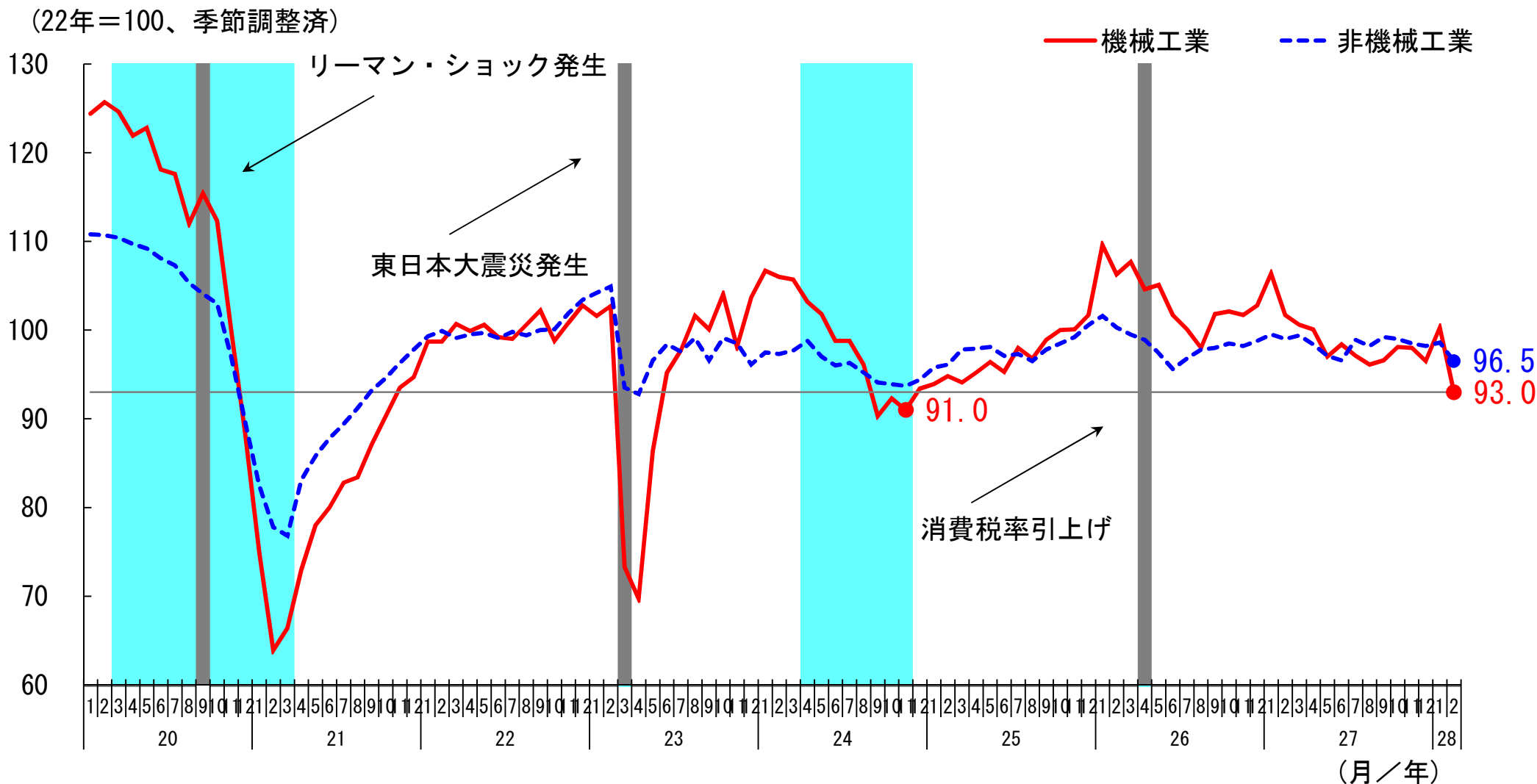
(22年=100、季節調整済)



(注) 水色のシャドー一部分は景気後退局面

機械工業と非機械工業の稼働率指数の動向

- 平成28年2月の機械工業の稼働率指数は93.0(前月比▲7.3%)と2か月ぶりの低下。平成24年11月の91.0以来の指数水準。
- 非機械工業の稼働率指数は96.5(前月比▲2.1%)と2か月ぶりの低下。



(注) 水色のシャド一部分は景気後退局面

製造工業稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成28年2月の製造工業稼働率指数は、輸送機械工業などが低下したため、前月比▲5.4%の低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

